

6月から検(健)診が始まります!

※詳しくは、5月中に配布します「住民検(健)診ご案内」をご覧ください。

笑顔で毎日過ごすため、
年に1回はからだの
チェックを
おすすめします。



集団検(健)診

公民館など
各会場に集まって受ける
検(健)診です。

◎がん検診

胸部(結核・肺がん)検診、喀痰検査、
大腸がん検診、胃がん検診、
子宮頸がん検診、乳がん検診、
前立腺がん検診

◎30歳代健診

◎特定健診(40~74歳で町国保の方)

◎後期高齢者健診(75歳以上の方)

◎肝炎ウイルス検査(40歳の節目の方)

◎歯科健診

個別検(健)診

決まった期間内に
病院で受ける
検(健)診です。

◎特定・後期高齢者健診

◎婦人科検診

(子宮頸がん・乳がん検診)



5月31日~6月6日は「禁煙週間」です。

タバコというと肺がんのイメージが強いですが、その悪影響は全身に及びます。タバコに含まれるニコチンが、血管を収縮させる作用があることから、以下のような危険性があります。

一般社団法人 日本循環器学会
禁煙啓発キャラクター「すわん君」



『ちょっと一服』の影響

- ・脳の酸素供給量や、血流が減ることによって、勉強や仕事の能率が下がります。
- ・肺や気管支では慢性閉塞性肺疾患(COPD)や、ぜんそく等の呼吸器疾患を引き起こします。
- ・胃や腸の粘膜を傷つけ、胃潰瘍や十二指腸潰瘍が起こりやすくなります。
- ・血圧が上がることで、心臓病や脳卒中になる率が高くなります。
- ・歯茎が黒ずんだり、歯周病にかかりやすくなります。
- ・ED(勃起障害)を起こしやすくなります。
- ・その他、肌の老化や薄毛が目立ちやすくなったり、免疫力の低下から風邪をひきやすくなったり重症化しやすくなったりします。